

みなとオアシスあきたにぎわいプラン
<< 概要版 >>



平成20年3月
秋田市

策定目的

秋田港ポータルネッサンス 21 事業の先導的施設として、平成 6 年 4 月に建設された秋田ポートタワー（愛称：セリオン）は、秋田港のシンボルとしてのみならず、秋田市のランドマークとして市民に定着し、秋田港周辺のにぎわい創出に大きな役割を果たしてきました。

しかし、2 年目以降、落ち込んだ展望者数を回復するには至らなかったことから、施設の整備目的である港のシンボルとしてのにぎわいを安定的かつ継続的に創出するため、市が平成 18 年度に施設を公設化し、平成 19 年 4 月に秋田市ポートタワー（セリオン）としてオープンしました。

市では、公設化を契機として、秋田港を中心とする周辺地域の更なるにぎわいを創出するため、秋田市ポートタワー（セリオン）およびその周辺施設の利活用方策や整備計画、地域連携等の取り組みについて具体化する「みなとオアシスあきたにぎわいプラン」を策定します。

策定手法

本プランは、学識者、商工団体、専門家、関係行政機関、地元団体、秋田市ポートタワー（セリオン）周辺の民間事業者、観光事業者等で構成された「みなとオアシスあきたにぎわいプラン策定委員会」を平成 19 年 8 月に設置し、平成 20 年 2 月までに合計 5 回の委員会を開催し、策定されたものです。



第 1 回 (平成 19 年 8 月 28 日)

本委員会の設立目的・これまでの経緯や関連計画等について確認
今後のスケジュール・策定手法等についての意見交換・決定

第 2 回 (平成 19 年 10 月 30 日)

・現状と課題の整理について
・基本方針について
・再生等に向けた取り組み(施策)について

第 3 回 (平成 19 年 12 月 20 日)

・市が行うこと具体策について

第 4 回 (平成 20 年 1 月 28 日)

・みなとオアシスあきたにぎわい基本構想について
・秋田市ポートタワーの機能強化に向けた改修計画について

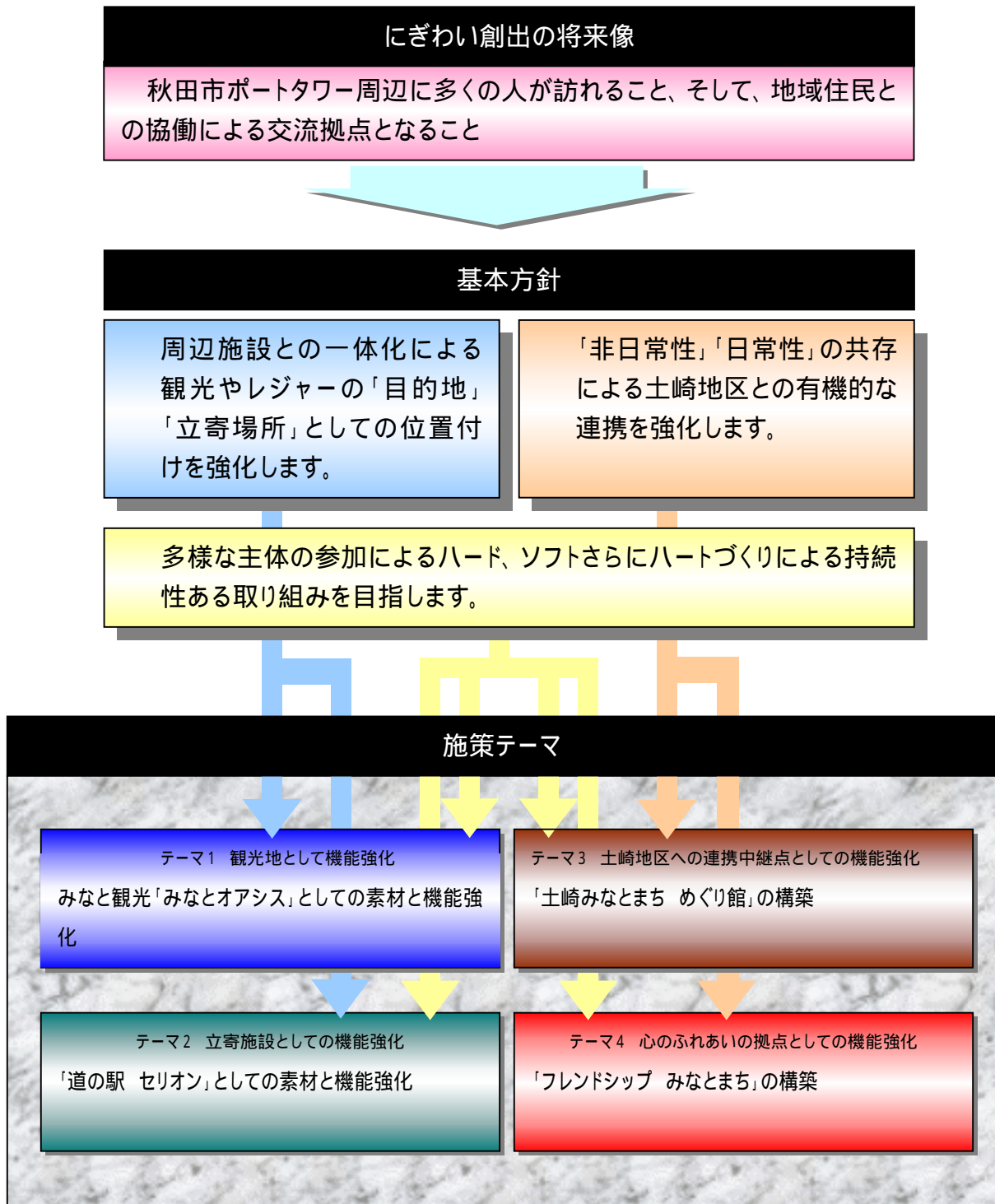
第 5 回 (平成 20 年 2 月 21 日)

・みなとオアシスあきたにぎわいプラン(案)について

みなとオアシスあきたにぎわいプランの策定

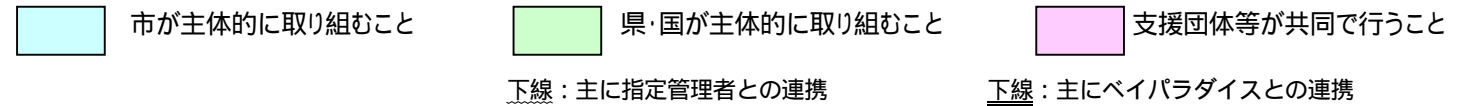
にぎわい創出に向けた施策テーマ

にぎわい創出の基本方針に基づいて、施策のテーマとして、4つのテーマを掲げます。この4つの施策テーマごとに、現状分析から抽出された検討の視点を区分することで活用できる素材、にぎわい創出に向けた取り組みの方向性を明確にします。



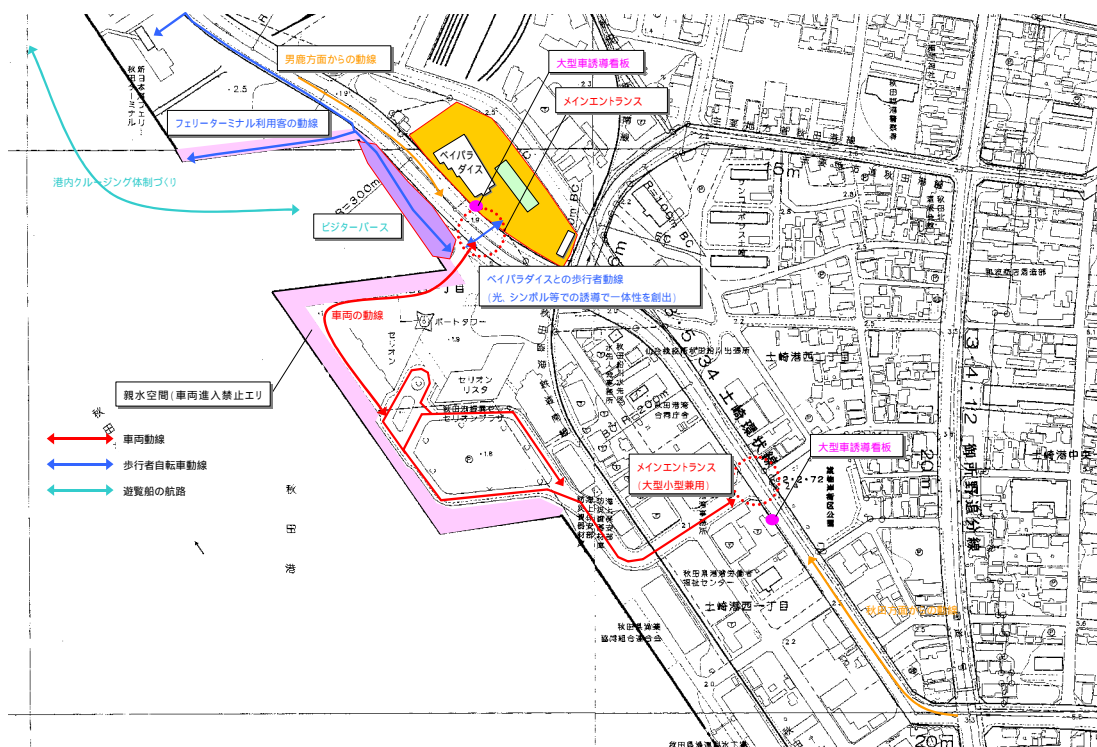
にぎわい創出のための施策

施策テーマごとに、強化すべき施策から見出された取り組むべき施策毎に、その実現に向けたハードづくり、ソフトづくり、ハートづくりの施策を整理した、施策体系図を以下に示します。



施策テーマ	取り組む施策(ニーズ)	ハードづくり (設備改修)	ソフトづくり (仕組みづくり)	ハートづくり (心の育成)
1. 観光地としての機能強化：みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化	・周辺地域との一体性の演出 (海の見られる休憩施設、海辺の連続した散策路、景観づくり)	1. 案内板・サイン整備 2. 周辺施設間の自転車歩行者道の整備 3. モニュメントの設置	1. 一体的な景観ルールづくり(学術研究機関との連携) 2. 一体地域パンフレット 3. 本日の寄港船舶情報発信 4. 待ち合わせの場所イメージづくり(待ち合わせはセリオンで) 5. 大型客船受入体制づくり 6. 旅行、レジャー雑誌等へのPR	1. シンボルデザインコンテスト 2. 大型客船誘致運動 3. みなとオアシスの啓蒙
		4. 自転車歩行者道の整備(安全対策、バリアフリー) 5. 休憩施設(ベンチ等)の設置 6. 照明灯、防護柵等の整備 7. ボードウォーク 8. 駐車場の再配置		
	飲食機能強化(ポータルタワー内の種類・雰囲気、海が見えるレストラン)	9. セリオン内レストランの改修	7. 海・山・里の幸、秋田、土崎メニュー(ハタハタ、かに、フグ、海草類、カスベなど) 8. コンテナ就航先料理 9. フェリー寄港にあわせた食事の提供	4. 料理コンテスト、料理教室 5. 新メニュー開発コンテスト
	物販機能強化(地場産品、海や港湾にちなんだ物)	10. 海、山、里のおみやげ陳列設備(地場産品) 11. クルーズなどの一時停泊者向けの物販施設(ちょっとした買い物コンビニエンスストアへ) 12. 地域物産販売ブースの改修	10. フェリー客、観光客用お土産陳列 11. 秋田市民の買い物の陳列(地場産品) 12. 秋田マリナーでのPR 13. 地域物産販売の仕組みなど	6. お土産コンテスト 7. 地域住民との触れ合い
	船・海洋学習機能	13. 海洋レジャー施設整備(釣り公園など)	14. 港内外クルージング体制づくり 15. 船・海洋学習イベント機能(乗船体験など) 16. ビジターバスとしての運用	8. 港の案内人(マイスター)育成
	子供の遊び場	14. 子供の遊び場(常設)	17. 子供遊びイベント	-
	イベントのさらなる強化	-	18. イベント企画の充実	9. イベントボランティアの育成
2. 立寄型施設としての機能強化：「道の駅 セリオン」としての素材と機能強化	道の駅施設(道路休憩施設)	15. 24時間トイレ(バリアフリー) 休憩施設の設置 16. 敷地内サイン整備 17. 情報端末(道路交通情報、観光情報)の整備 18. 駐車場向け電光掲示	19. 道の駅化に向けた協議会設立 20. 新鮮な情報入手システムづくり(男鹿観光施設の予約、夕日の時間、道路路面・気象情報)地域(土崎など)の情報や楽しみ提供できる仕組み	-
	周辺道路からの利便性向上	19. 国道7号からの流入動線の確定(標識整備) 20. 駐車場位置及び入口部の改善	-	-
	秋田港や土崎地区などを知ることができる機能	-	21. 地域からの情報発信(他の公共施設との連携・機能分担)	10. 土崎観光案内人
3. 土崎地区と来訪者の連携中継点としての機能拡充：「土崎みなとまちめぐり館」の構築	商店街とのつながりあいづくり	21. 土崎商店街情報ブース 22. 自転車歩行者道の整備	22. 商店街共同チケットづくり(温泉施設等との連携) 23. 情報共有システムづくり 24. 地域商店街案内マップづくり	-
	地域のイベント開催	23. 展示ブースづくり 24. 子供の遊び場づくり	25. 土崎地区住民優先展示コーナー(わが町の自慢) 26. 各種講座など生涯学習の推進(他の公共施設との連携・機能分担)	-
4. 心のふれあいの拠点としての機能強化：「フレンドシップ みなとまち」の構築	ファンづくり(セリオンファンクラブ)	-	27. ファンクラブ結成 28. 案内人制度づくり 29. 支援体制協議会の設立	11. みなとまちを愛し、自慢する人づくり

秋田市ポーター周辺の配置方針

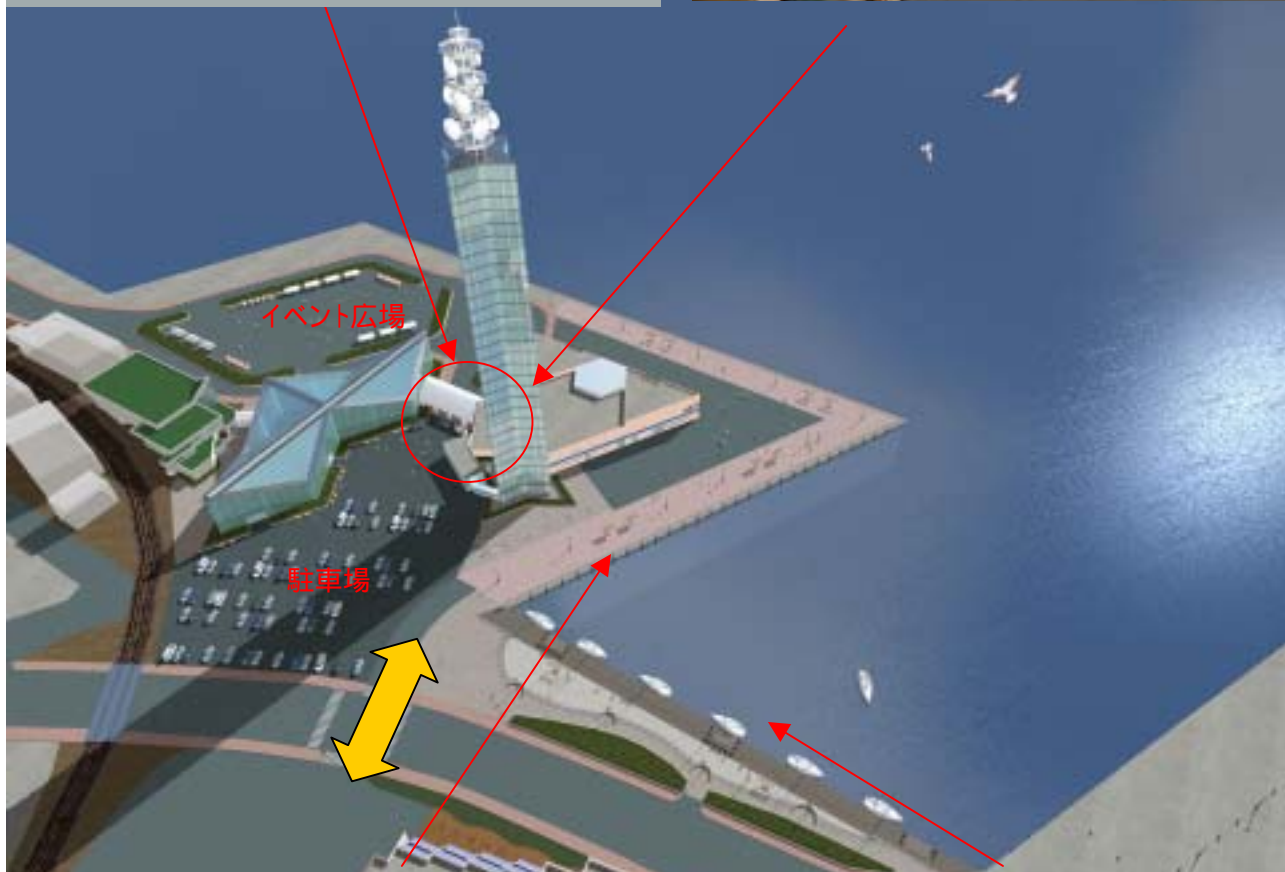
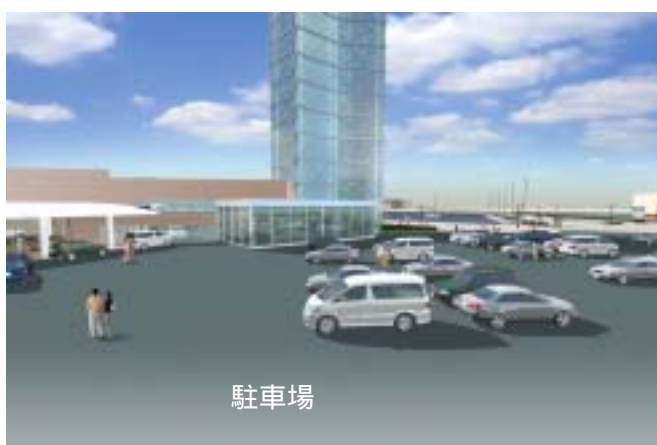


目標年次設定の考え方

施策テーマの実現に向けて、計画的な実行が求められます。本プランにおいては、秋田市政における上位計画となる第11次秋田市総合計画の進捗との整合を図り、段階的な整備を進めていきます。

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28～
みなとオアシスあきたにぎわいプラン	計画策定	短期	中期						長期	
		定期的な計画のフォローアップ								
期間目	今がチャンス、みなとのにぎわいへのイメージを共有 秋田市ポーターの目的観光地機能、立寄機能の基盤整備 土崎地区との中継交流拠点としての体制整備 支援体制整備			道路網などの基盤整備 土崎地区との連携						海辺との連続性向上にむけてポーター、ベイパラダイス、フェリーターミナルの一体的歩行者空間の確立 大型観光船の接岸によるみなとオアシスとしての魅力向上
第11次秋田市総合計画	基本構想									
	期間計画									
	19-21 期計画			22-24 期計画				25-27 期計画		

整備イメージ



アンケート調査結果

H19 秋田市ポートタワー(セリオン)利用者アンケート調査概要

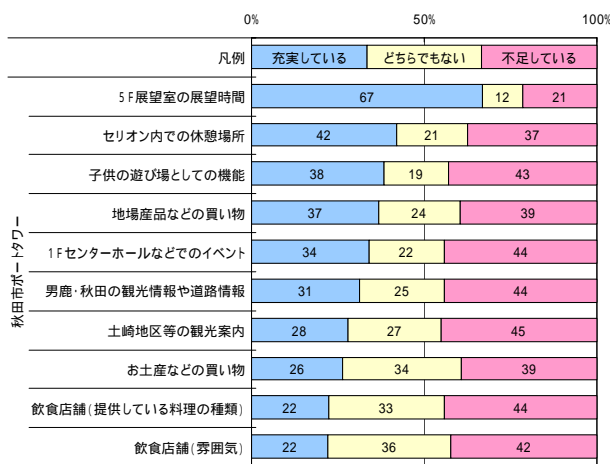
調査目的：秋田市ポートタワーの利用実態及び利用者からみた現状評価、ニーズを把握するために行った。

調査時期：平成 19 年 12 月 27 日～平成 20 年 1 月 14 日

調査期間中は、秋田市ポートタワー内にて子供向けイベント「わくわくらんど」が開催

調査方法：秋田市ポートタワー内に調査票配置、回収箱による回収

回収数：169 票

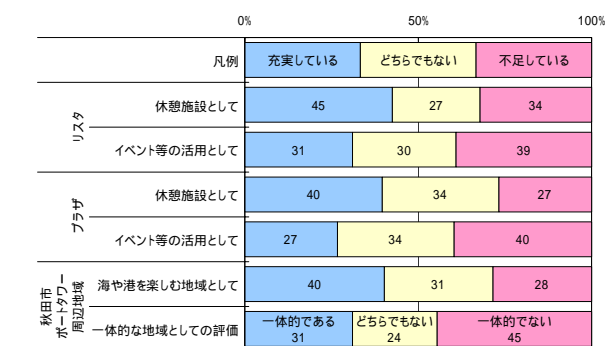


<秋田市ポートタワーの施設等評価>

全体として、半数以上の方が充実していると回答しているのが「展望室の展望時間」のみとなっている。全体的に「不足している」との回答が多く見られる。

比較的「充実している」の回答が多く見られるのが「休憩場所」など

比較的「不足している」の回答が多く見られるのが「飲食施設」「お土産などの買い物」「土崎地区等の観光案内」「男鹿・秋田の観光情報や道路情報」など



<セリオンリスタ及びプラザの施設等評価>

リスタ、プラザともに、休憩施設として、比較的「充実している」割合が高い

リスタ、プラザともに、イベントの活用としては、どちらでもないという評価できない回答が多く見られる。

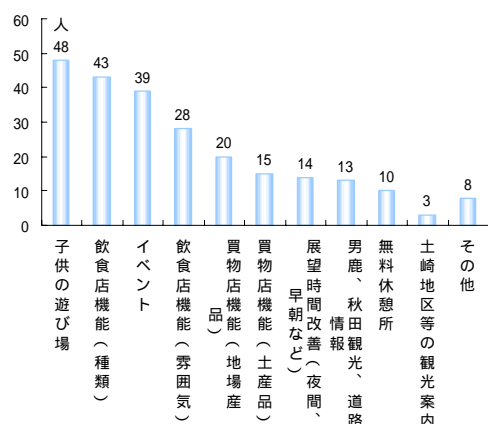
<秋田市ポートタワー周辺地域についての評価>

海や港湾を楽しむ地域としては、充実しているが40%、不足しているが28%。

一体的な地域としての評価は、「一体的でない」との回答が、45%であり、「一体的である」より多い。

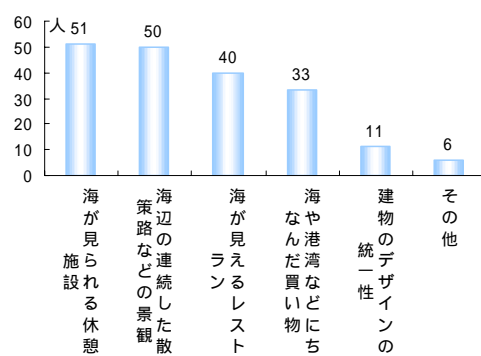
<強化すべき機能>

子供の遊び場/飲食店機能(種類・雰囲気)/イベント/買い物店(地場産品)が多く求められている。



<海や港湾を楽しむために必要な機能>

海が見られる休憩施設/海辺の連続した散策路などの景観/海が見えるレストラン/海や港湾などにちなんだ買い物への要望が多くみられる。



平成 20 年 3 月

秋田市商工部港湾貿易振興課 〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号 電話/018-866-2164 ファクシミリ/018-863-8997

URL <http://www.city.akita.akita.jp/city/in/hb/default.htm> E_mail ro-inhb@city.akita.akita.jp